

有家史談会が「獄南風土記」を贈呈



4月17日、有家史談会が市長に島原半島の歴史・民俗研究の成果をまとめた「獄南風土記」を贈呈しました。

有家史談会はコレジヨ市民文化講座を実施しており、本市の歴史などを広めています。受講して本市の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。

書籍「ローマを見た着物の少年たち」刊行



4月、本市は、天正遣欧少年使節が身につけた服に関する調査研究結果を書籍として刊行しました。

書籍は、著者でイタリア在住の服飾史研究家 加藤なおみさんのイタリアでの長年の研究結果を報告書としてまとめたもので、服飾史というこれまでにない視点で天正遣欧少年使節を紐解いた貴重な研究結果が記載されています。

4月23日、加藤さんが市長を表敬訪問しました。加藤さんは「少年たちが着ていた着物は生地が上質で、金粉が施されているほど豪華なものだった」と話していました。書籍は県内の図書館や博物館、関係自治体などに配布する予定です。

自然を感じながら100mのそうめん流し



4月29日、ありえ俵石自然運動公園で自然と遊ぼう2015が開催されました。

このイベントは今年で28年目を迎え、毎年、ゴールデンウィークの時期に開催しています。当日は心配されていた天候にも

恵まれ、たくさんの人で賑わいました。目玉の100mのそうめん流しでは、たくさんの親子連れなどが冷たいそうめんに舌鼓を打っていました。



航行の安全を願い こんぴら公園祭

4月26日、布津のこんぴら公園でこんぴら公園祭が開催されました。

このお祭りは航行する船の安全と海路平穏を祈願して建てられた琴平神社で、戦前から地域の恒例行事として行われていたものです。戦後、休止状態でしたが、約20年前に地元有志の働きかけにより復活し、その後毎年開催されています。

祭では和太鼓の演奏や、カレーや焼きそばなどの各種露店が並び、特に名物のこんぴら万十は人気を集めていました。



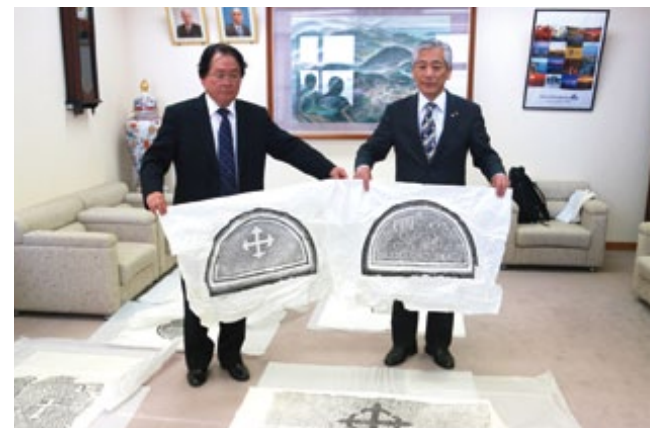
海の厄介者を畑の救世主に

5月1日、深江ブループロジェクトのメンバーと深江小中学校の生徒が、アナアオサの堆肥を使った野菜の植え付けを行いました。

この活動は、海で大量発生し問題となっているアナアオサを有効活用すべく、昨年から試験的に始まり、今年で2回目の実施となります。

深江中学校では、2年生の生徒たちが深江ブループロジェクトの指導の下、学校の花壇にミニトマトの植え付けを行いました。

実験では、塩抜きしたアナアオサ堆肥、塩抜きしないアナアオサ堆肥、牛糞堆肥、腐葉土、化成肥料、無肥料と別々の試験区を設定し、収穫時には試食会を予定しています。



キリシタン墓碑の拓本を寄贈

5月8日、前長崎歴史文化博物館研究グループリーダーの大石一久さんが国内のキリシタン墓碑95基の拓本、計110点を本市に寄贈しました。

拓本とは、墓碑に刻まれた銘文、十字架などの意匠を墨で和紙に写し取ったものです。

大石さんは、本市と共同でキリシタン墓碑の調査を実施する一方、ご自身でも休日を利用して調査、採拓をし、これまで拓本を個人で保管していました。しかし、「全国に200基以上あるキリシタン墓碑のうち6割が集中する南島原市が持っておいた方が今後の調査研究にも役立つだろう」との思いから寄贈にいたりしました。

本市では今後、補強作業を進め、展示などに活用していく予定です。

Focus in 南島原 まちの話題



塔ノ坂地区住民待望の給水開始

塔ノ坂自治会では、これまで湧水を水源とする共同の給水施設で飲用水を確保していました。しかし、今後の管理や水質への不安、干ばつ時の水の確保のため、水道の布設による安全で安定した水の確保が求められていました。

これを受け、本市では、平成25年度から工事を施工し、この度、完成を迎え、5月13日、塔ノ坂浄水場で落成式を行いました。

出席した自治会長の吉田勉さんは、「高齢化により、飲料水を確保するための維持管理作業が負担となっていました。安全・安心な水を確保することができ喜んでいきます」と話していました。なお、本工事で自治会内に消火栓を3カ所設置したことで火災発生時の水の確保も可能となりました。



ソトからの目で魅力を再発見 ～地域おこし協力隊着任～

本年度、本市では地域おこし協力隊制度を活用し、地域の魅力を再発見し、豊富な資源を活かした取り組みによって、活気あふれるまちへと導く仕掛け人として、全国各地から6人の隊員を採用しました。

隊員は廃校活用プランナー、マリレジャープランナー、ブランドコーディネーターの分野で、これから3年間、本市で活動していきます。

5月1日、市役所で委嘱状交付式が実施されました。廃校活用プランナーとして採用され、数日前から本市に移住している中島賢一さんは「地域の人たちにご指導いただきながら、市の起爆剤となるような施策を考えていきたい」と抱負を語りました。